

第 34 回大分 NST 研究会 報告

2022 年 6 月 25 日、大分市ホルトホールにおいて、第 34 回大分 NST 研究会を「癌治療と栄養管理」をメインテーマに開催させていただきました。COVID-19 感染症の流行もまだまだ安心できる状況ではない中、今回も現地開催と Web によるハイブリッド開催となりました。現地会場のホルトホールには 47 名の皆様に御参加いただき、Web では 175 名、合計 222 名の皆様に聴講いただきました。私自身は第 32 回から参加の新参加者ですが、コロナ禍であっても多くの参加に「大分 NST 研究会の力」を実感させられました。

一般演題では 5 名の先生方にご発表いただきました。坂ノ市病院の吉田 香先生、津久見市医師会立津久見中央病院の樋口愛実先生、中津市立中津市民病院の末永朋子先生、大分県済生会日田病院の大森紀美子先生、国家公務員共済組合連合会新別府病院の末吉安奈先生、ありがとうございました。ピットホールになる貴重な臨床経験、退院後を想定した包括的な栄養計画、QOL を考慮した全人的な栄養管理、化学療法中の食事に対する意識調査や施設間での栄養状態の違いは、貴重な気づきを得られ今後の参考になるご発表ばかりで大変濃密でした。

基調講演は、当番世話人施設である中津市立中津市民病院 折田博之院長に「消化器癌治療と栄養管理」という演題でご講演いただきました。豊富な臨床経験とデータから有効な周術期栄養管理や留学時代からの ω 脂肪酸の重要性の話は大変面白いお話でした。

特別講演は、岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター 主任医長の犬飼道雄先生に「がん治療における栄養管理のコンセンサス」という演題のもとご講演をいただきました。普段からの講演スキルを十分に発揮いただき、大変楽しくかつ勉強になる時間でもっと聴きたいと思う講演でした。「がん関連性体重減少」を来さないように多職種が肩をならべて、補完しながら行う栄養管理の重要性を改めて認識させていただきました。また、日々の忙しい外来診療の中で、データからは読み取りづらい非血液毒性の予防こそ重要な治療継続の要点が含まれていることを改めて勉強させていただきました。

最後になりましたが、今回共催いただいた株式会社大塚製薬工場様に感謝申し上げます。次回は共催がない状況での開催となりますが、「大分 NST 研究会の力」をもってすれば次回も大変有意義な会になると信じております。

第 34 回大分 NST 研究会 当番世話人 梅田 健二